

# 本庄南ロータークラブ



慈愛の種を  
播きましょう

## 会報

例会日 毎火曜日 19:00~20:00  
 例会場 埼玉グランドホテル本庄 五州園(最終火曜日)  
 事務所 埼玉グランドホテル本庄内 〒367-0041 本庄市駅南2 2 1  
 Tel: 0495 23 0143 / Fax: 0495 23 0141  
 E-mail: rotary@mail.honjo.ne.jp

会長 高橋 茂雄 | クラブ会報委員会/委員長 木村 真純/副委員長 小松 政敏  
 幹事 堀川 明 | /委員 佐藤 重孝・長沼 章・矢部 一臣

## 第412回例会

9月17日

発行 平成14年9月24日(火)

- ◎司 会 / 奈良橋秋夫SAA
- ◎点 鐘 / 19時00分 高橋茂雄会長
- ◎ソング / それでこそローター
- ◎ゲスト / 河合素直様  
 (早稲田大学副総長・理工学部教授)  
 片倉昭弘様(上里RC)  
 明堂純子様 他5名

RRRRR RRRRRRRRRRR RRRRR RRRRRRRRRRR

### 会長挨拶

高橋茂雄会長



本日は午後4時から6時まで、さいたま市で埼玉県新生児聴覚検査事業についての会議がありましたので、例会到着がぎりぎりとなり申し訳ありません。

その事について少しだけお話いたします。皆さん意外かもしれませんが、医学がこれだけ進歩している現代でも赤ちゃんの耳が確かに聞こえるかどうかを早期に、簡便に、また確実に調べる事が出来ませんでした。その結果重いものでは1歳代、軽いものでは2歳過ぎまで難聴が診断されずに療育が有効な時期に受けることが出来ず、言語の発達が遅れてしまう例がほとんどでした。最近になり、欧米では聴性脳幹反応を自動的に診断出来る機器(AABR)が開発され、比較的容易に検査を行うことが出来るようになりました。先天性の難聴は新生児1,000人中1~2人におこると言われますので、他のマスキングを行っている先天性の疾患に比べ格段に発症頻度が高くなっております。そこで日本でも全出生児を対象に検査を行うことの有効性と問題点をつかむために、都道府県単位でモデル事業としてスクリーニング検査を行うこととなりました。昨年までに岡山県と神奈川県の一部そして秋田県等で実施されましたが、本年9月より埼玉県でも県内10カ所の医療機関を選

定して検査事業を実施することになりました。難聴は生後3カ月までのうちに発見され6カ月までに療育を開始することが大事とされております。新生児期は自動聴性脳幹反応の検査が比較的行い易く、私どもの施設でも以前より実施しておりましたので今回の事業に参加協力することになっております。

本日の卓話講師は、早稲田大学常任理事・理工学部教授、河合素直様をお招きしております。卓話時間を充分とれますように、会長挨拶は手短かにいたします。

先週も天候がはっきりせず、期待しておりました本庄花火大会は再度の延期となってしまいました。秋に入り朝夕涼しくなり少し過ごしやすくなってきました。今日は新聞テレビでは歴史的な初の日朝首脳会談について競って報道しておりますが、ロータークラブではあまり政治的話題は取り上げないことになっておりますので触れません。

地元の話題になりますが、先週の日曜日本庄市民文化会館で市町村合併シンポジウムが行われました。合併に向けて少し前進したような印象を受けましたが、合併特例法のリミットである平成17年3月までに成立するには、任意であれ特定であれ、協議会の設置がそろそろ行われないと時間的に忙しくなってしまうのではないかという気もしました。シンポジウムの議論の中でも地方拠点都市法、新幹線新駅、早稲田大学等の言葉が盛んに発言されていましたが、本日は本庄市の今後の発展に大変重要な関わりを持つことが期待される早稲田大学より、河合先生が「本庄リサーチパークのめざすところ」というテーマで当クラブでご講演していただけることは、誠にタイムリーなことと感謝しております。

## 幹事報告

堀川 明幹事



米山月間に際して、資料が送付されてまいりました。(会長、幹事、米山奨学委員長、国際奉仕委員長、その他) 寄居ロータリークラブより週報が来ております。

## 委員会報告

浅田 進会員



<講師紹介>

## 例会予定

- 10/ 1 第414回/埼玉GH/PM7:00  
卓話予定 地区米山奨学学友委員  
高崎孝様と米山奨学生
- 10/ 8 第415回/埼玉GH/PM7:00  
卓話予定 ネットウェブ(株)  
代表取締役会長 吉川郁夫様
- 10/15 第416回/埼玉GH/PM7:00  
卓話予定 早稲田大学総合企画部  
本庄プロジェクト推進室  
調査役 岡田隆行様
- 10/22 第417回/安養院/PM7:00 移動例会  
坐禅

## 卓話

河合素直早稲田大学副総長



【本庄リサーチパークのめざすところ】

21世紀を迎えた今、一つの変革の時期を迎えたということをいろいろな側面において否応なしに認めざるをえない状況といっても過言ではありません。過去の栄光にすぎることなく、単に今までの歩みを継続するというだけでなく、新しい時代へ挑戦する戦略目標を考えるときを迎えたという時代認識をもつことが重要なこととなっています。別の表現を用いるならば、「量の拡大の時代」から環境問題をも含めた「質を問う時代」への変化を認識し、「質を問う時代」における組織のあり方、人材の育成を考えることが強く求められているところでしょう。

このような観点から、本庄(早稲田)リサーチパークのめざすところについて、日頃考えていることをお話したい。



## ニコニコボックス

片倉 昭弘様(上里RC)

早大・河合副総長の卓話を聴かせて頂きに参りました。

明堂 純子様

〃

堀川 明幹事

河合先生、本日は卓話ありがとうございました。

## 欠席者のメッセージ

堀口宏之会員 都合により欠席致します。

高橋政夫会員 出張の為 〃

服部浩一会員 私用の為 〃

## 出席報告

福島好正出席委員長

会員数	出席	M.U	欠席	出席率
33名	20名	2名	13名	66.6%